

## かんちゃんのお遍路さん (7)

泉州労山 管和彦

### 足摺岬へのみち。高知県はお寺の間隔がメチャナ長く、人情のまち。

私は2013年5/12～6/17、37日間かけて四国88カ所1200kmを野宿しながら休まず歩いてきました。**10日目 5/21**高知県25～26番。道の駅「田野駅屋」軒下泊 **11日目 5/22**27番。善根宿「萩森」泊 **12日目 5/23**28～30番。善根宿「浦原遍路小屋5号」泊 **13日目 5/24**31～34番。清滝寺待合室泊 **14日目 5/25**35～36番。海産物販売所の軒下泊 **15日目 5/26**37番。窪川運動公園ベンチ泊 **16日目 5/27**ひたすら歩く。河川敷の観音堂泊 **17日目 5/28**38。足摺岬の民宿「西田」泊 **18日目 5/29**ひたすら歩く。道の駅「めじかの里」軒下泊 **19日目 5/30**39番。新鮮市場「あるね屋」軒下泊

**10日目**終日炎天アスファルト歩きフラフラ。25番過ぎ、対向車線の軽四が急停車し窓からおじさんが「お遍路さんピワ食べ」とお接待を受ける。おいしい～！26番過ぎ、猛暑にたまらず民家の影で一息してたら、窓からおばさんが暑いやろと氷水作ってくれ感激！心に沁みるお接待。猛暑にすぎる思いで電線の細い影踏んで歩く。駅舎の軒下で寝る。2950円使う。**11日目**芸西村の海岸で休憩してたら、おじいさんが「今夜泊って行きなさい」。その人は有名な「萩森のおじいちゃん」で善根宿に泊めて貰う。近くの温泉兼プール入場券と海パンと自転車を貸してくれる。四国の善根宿を全部教えてくれ、後々まで大助かり。全部無料のお接待。2200円。**12日目**萩森氏の紹介で工作所の「浦原遍路小屋5号」泊。個室で屋外にシャワー洗濯機トイレつき。野宿の身にはもったいない。1000円。**13日目**久しぶりにお寺四つ巡る。日暮れて35番到着し、お寺待合室借り泊。今日は故郷久万高原町を源流とする仁淀川河口を眺め感慨にふける。幼少時のおしっこが何兆分の一に薄められようと太平洋に下り、幾百年を経て再び雨となって故郷の空に降る。悲しい。1481円。**14日目**リアス海岸は歩けど先へ進まない。親切そうな人に出会いお接待かと思ったら遍路を食物にする悪人。前に行く遍路について行ったら別の山で1時間ロス！。2300円 **15日目**福島県の根元氏とこの三日程先を競ってたがついに先行される。灼熱の木陰で休憩中、喫茶店「野咲花」がモーニングお接待、涙する。靴下全部穴が開き痛いので4足買う。窪川運動公園のテニスコートのベンチで野宿。2460円。**16日目**室戸岬へ歩き続ける。午後から雨。四万十川橋の観音堂（竹島地区の善意で遍路に提供）で寝る。雨中に畳の小屋はありがたい。**17日目**前日から続く雨で全身濡れネズミ。歩けど足摺は近づかず。ジョン万次郎記念館や生地を通る。風雨の海岸を延々歩き、ついに四国最南端の足摺岬金剛福寺に到着。自分へのご褒美で、民宿「西田」に宿泊。西田氏は大先達。**18日目**今日も一日雨で気力を失い、峠手前の道の駅「めじかの里」泊とする。淡路と奈良の人と軒下泊。1400円。**19日目**午後から又も雨。毎日雨が降り荷物もシュラフも濡れてグジョグジョ。道路傍にある新鮮市場の軒下泊。明日はいよいよ故郷の愛媛の地に入る事になるだろう。地面にごろ寝しながら心が躍る。1250円。●思い返せば高知県、人情厚くお接待に幾度となく涙した。室戸と足摺は雨が続き、歩けど歩けど見えなくじけそうになる。室戸岬を過ぎると炎天下に野良生えピワを口にし幾度となく助けられた。●20日間かけて四国を半分歩いたが、病気にもならず、一日も休まず、一步50cmづつの積み重ねで、よくまあ～500kmもはるばる歩いたもんだ！ただただ、自分に驚嘆するばかりである。●◎次号は愛媛。懐かしい故郷。毎日新しい出会いと、お接待に涙。遍路後半の苦難の旅は続く。